

●イラク

○37

慶祝凱歸(H18/7/29作)

(仄起式、押韻は、平声五「微」である。)

二年半に渡るイラクでの人道復興支援任務を終えて部隊が無事に帰国しました。この間、一名の殉職者も出すことなく、サマワ県民はじめ世界各国から高い評価を得ました。色々と解決すべき問題はありますが、取り敢えずは彼らの無事の帰国を素直に慶びたいものです。

灼熱焼膚砂叩衣
更加白弾夜頻飛
敢為遂務礎大復
善果重任誇凱歸

○23

大慶帰還(H16/6/7作)

(仄起式、押韻は、平声四「支」である。)

イラク派遣隊員が大任を果たし素晴らしい顔をして帰国しました。広での帰国歓迎会に参加して、彼等の勇姿に接してきました。

全任精兵千里馳
得信礎固莫相疑
知己駭寄歛強抱
須拳国人捧謝意

○20

赴援伊拉克(H16/2/9作)

(平起式、押韻は、下平声一「先」である。)

イラク人道復興支援に第五師団の隊員も参加しております。危険あるを承知し自ら決意して参加した兵に敬意と感謝を捧げます。任務を完遂し、無事に帰還することを確信しつつも、祈らずには折れません。

干戈既熄認炊煙
雖有務危赴敢然
揮汗異郷興復士
任全颯爽可帰還

○17

寄壯途 (H15/12/22作)

(平起式、押韻は、平声五「微」である。)

北部方面隊の部隊のイラク派遣が現実のものとなりました。素晴らしい隊員ばかりです。願わくば、国家百年の大計を担って勇躍任に赴かんとする彼等に限りない声援を賜りたいものです。

勇士馳参充勢威
拮抗贊否烈泡飛
願俄滿地誉如湧
無事帰還挙禱祈

○16

越非命赴 (H15/12/7)

(仄起式、押韻は、下平声十「蒸」である。)

イラクで有能な外交官二名が非命に斃れ、自衛隊によるイラク復興支援の意を益々強くしました。

混沌照隅輝兩鵬
無情憤死暴凶憎
越屍不怯繼承志
可以決然援復興

○7

想革正 (H15/3/13作)

(平起式、押韻は、平声四「支」である。)

第二次湾岸戦争も収束に向かいつつある中で、イラク国民に対するエールです。復興には万邦の支援を必要とするのでしよう。

多年庄政大邦飢
諸国除魍随喜詞
四顧山河焦土下
一心再建有為時